

HDMI2.0 18Gbps Splitter

1入力2/4/8出力 18Gbps HDMI分配器

●本マニュアルについて

本製品は4K対応、高機能なHDMI機器の為、接続や設定によって動作が変わることがあります。ただし、「映らない」「音が出ない」といった症状の多くは、故障ではなく接続構成・EDID DIPスイッチの設定・起動順が影響している場合があります。本マニュアルには、本製品の使用中に発生する可能性のあるトラブルと、その際に役立つ「解決のヒント」「切り分け方法」を掲載しています。ご使用の際は、大切に保管してください。万一、問題が生じた場合はご返送(返品)前に、本マニュアルに記載の接続例や解決ヒントをお試しください。多くの場合、設定や接続順を見直すことで改善します。それでも改善が見られない場合は、末尾の「改善しない場合」をご確認の上、販売元までご連絡ください。ご不安な点があれば、無理に判断せずお気軽にご相談ください。安心してご使用いただけるようサポートいたします。なお、本製品は告なく仕様を変更する場合があります。内容につきましても、確認が取れ次第、随時見直し・修正を行っております。本マニュアルは実機による検証結果をもとに作成しておりますが、すべての環境での完全な動作を保証するものではありません。本マニュアルが、安心してご利用いただくための参考資料となれば幸いです。

●EDIDについて【重要】

本製品は、HDMI機器を中継・分配する際に、EDID(接続機器の対応情報)を入力機器へ返すことで、映像と音声をできる限り両立させる設計となっています。EDIDには、対応解像度、リフレッシュレート、音声フォーマット(Dolby Atmos等)の情報が含まれており、入力機器は「1つのEDID情報」をもとに、映像と音声の出力仕様を同時に決定します。本機器にはEDID DIPスイッチを搭載しており、接続機器や使用環境に近いEDIDに切り替えながら、安定する動作条件を選んでご使用ください。なお、EDIDは、HDMI機器同士の仕様や相性に大きく依存する仕組みのため、本機器のEDIDがすべての環境で最適な機能することを保証するものではありません。そのため、映像や音声期待どおりに出力されない場合は、EDID設定の切り替えや接続構成の見直しを行ってください。

●音声出力に関する制約

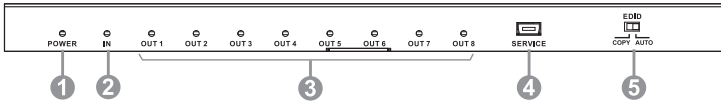
本製品は HDMI 信号を分配する機器であり、eARC 機能を搭載した製品ではありません。eARC に対応していないモニター環境では、映像を表示する機器(モニター)と、音声を再生する機器(サウンドバー/AVアンプ)が HDMI 信号上で異なる役割を担う構成となります。Dolby Atmos や Dolby Digital Plus(DD+)などの高音質音声を再生する場合は、**HDMI入力端子(HDMI IN)を備えたサウンドバー/AVアンプが必要**です。尚、高リフレッシュレート映像(1080p@120Hz)と高音質音声は、接続機器の仕様・EDID交渉結果・帯域条件により、常に同時に最大条件で成立するとは限りません。

●主な特長

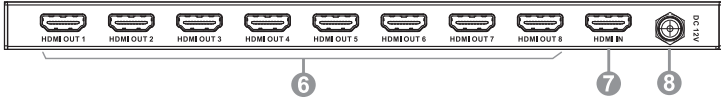
- ・HDMI入力信号を1入力2出力に分配できるHDMIスプリッターです。
- ・1台のHDMI機器の映像を、2台のテレビ/モニターに同時表示できます。
- ・ゲーム機(PS5/Xbox/Switch等)やストリーミング機器に対応しています。
- ・プレイ用モニターとキャプチャ機器への同時出力に適しています。
- ・会議・配信・録画・画面共有など、業務・個人用途を問わず幅広く使用できます。
- ・EDID DIPスイッチにより、接続環境に合わせた動作調整が可能です。

●各部名称・ポート説明

フロントパネル



リアパネル



①	POWER LED	電源に接続されると、この青色LEDが点灯します。
②	IN LED	HDMI入力ポート(HDMI IN)にアクティブなソース機器が接続されると、この青色LEDが点灯します。
③	OUT LED	HDMI出力ポート(HDMI OUT)にアクティブなディスプレイ機器が接続されると、これらの青色LEDが点灯します。
④	SERVICE	ファームウェアのアップデート専用ポートです。
⑤	EDID COPY	ダイヤルスイッチを「COPY」に合わせると、本機はHDMI OUT1に接続されたディスプレイのEDID設定を読み取り、ソース機器へ送ります。ソース機器はOUT 1に合わせた信号をすべての出力へ送信します。もしOUT1に有効なEDIDがない場合は、OUT2、OUT3...と順に探しに行きます。(優先順位は OUT1 から OUT8の順です)
	EDID AUTO	ダイヤルスイッチを「AUTO」に合わせると、本機はHDMI OUT1~8に接続されたすべてのディスプレイのEDID設定を比較し、最適な信号をソース機器に要求します。ソース機器はそれに基づいた信号をすべての出力へ送信します。
⑥	HDMI OUT 1~8	HDMIケーブルを使用して、テレビやモニターなどのHDMIディスプレイ機器を接続します。
⑦	HDMI IN	HDMIケーブルを使用して、DVDやセットトップボックス等のHDMIソース機器を接続します。
⑧	DC 12V	付属の電源アダプターを本機に差し込み、ACコンセントに接続します。

- 付属品
- ・電源アダプター
 - ・日本語マニュアル

●主な仕様

- ・HDCP 2.2 / HDCP 1.4 および DVI 1.0 に準拠
- ・HDMI 2.0b 規格に準拠
- ・18Gbps 映像帯域に対応
- ・最大解像度
4K@60Hz (4:4:4)
1080p@120Hz
- ・3D に対応
- ・対応音声フォーマット :
LPCM 7.1ch / Dolby TrueHD / Dolby Atmos / DTS-HD Master Audio ※
- ・自動ダウンスケール機能をサポート
- ・CEC パススルー対応 (入力 → OUT1)
- ・HDR / HDR10 / HDR10+ / Dolby Vision / HLG に対応
- ・EDID 管理機能を搭載
STD (1080p 固定) モード
TV (OUT1 の EDID をコピー) モード→

※上記の仕様は、本製品が対応可能な信号規格・機能を示したものです。接続する機器の組み合わせ、EDID(接続機器の対応情報)の交渉結果、信号条件や設定内容によっては、すべての機能が同時に成立・動作するとは限りません。※「LPCM 7.1ch/Dolby TrueHD/Dolby Atmos などのビットストリーム音声は、接続機器が対応している場合にパススルーされます(※ARC/eARC機能はありません)」※本製品は音声を生成・変換する機器ではありません。対応音声は、入力機器および接続先音声機器が対応している場合に限り、HDMI信号としてパススルーされます。

仕様	
HDMI規格	HDMI 2.0b
HDCP規格	HDCP 2.2
ビデオ帯域幅	594MHz / 18Gbps
ビデオ解像度	480i ~ 1080p 50/60Hz, 4Kx2K@24/30Hz, 4K2K@60Hz
HDMI	PCM 2CH, LPCM 7.1/5.1CH, Dolby Digital, DTS 5.1
オーディオ形式	Dolby Digital+, Dolby TrueHD, DTS-HD Master Audio, Dolby Atmos, DTS:X
静電気保護(ESD)	人体モデル : ±8kV (気流放電), ±4kV (接触放電)
接続	
入力ポート	1×HDMI Type A (19ピン メス) 1×SERVICE (Micro USB, アップデート用ポート)
出力ポート	2/4/8×HDMI Type A (19ピン メス)
物理仕様	
素材	金属製
本体色	ブラック
外形寸法	S12 -56mm (幅) × 100mm (奥行) × 16mm (高さ) S14 -63mm (幅) × 163mm (奥行) × 16mm (高さ) S18 -243mm (幅) × 102mm (奥行) × 16mm (高さ)
重量	S12 -165g / S14 -260g / -572g
電源	入力: AC100 - 240V 50/60Hz 出力: S12 ・ S14 -5V1A / S18 -DC12V/1A (US/EU規格, CE/FCC/UL認証済み)
消費電力	S12 ・ S14 最大2W / S18 最大6.15W
動作温度	-10°C ~ 50°C / 14°F ~ 122°F
保存温度	-20°C ~ 60°C / -4°F ~ 140°F
相対湿度	20~90% RH (結露なきこと)物理仕様

●1080p@120Hz と Dolby Atmos の同時利用について

同時利用については、HDMI入力端子を備えたサウンドバー/AVアンプを使用し、接続構成およびEDID 条件が整った場合に限り、成立する可能性があります。本製品を用いた実機検証環境においては、必須条件を満たした構成でのみ、同時成立が確認されています。
■同時成立が可能となる必須条件: 以下の条件をすべて満たしている必要があります。
・HDMI入力端子(HDMI IN)を備えたサウンドバー/AVアンプを使用していること。
・入出力機器が1080p@120HzおよびDolby Atmosの出力に対応していること。
・EDID設定および接続順が適切であること
※接続例は「接続例①」をご参照ください。

●同時成立しない場合

上記条件および接続例①を満たしていても、接続機器の仕様差・EDID交渉条件・信号帯域の制約により、1080p@120HzとDolby Atmosが同時に成立しない場合があります。これは本製品の不具合や性能不足ではなく、HDMI/EDID規格および接続機器側の仕様差・帯域条件によるものです。その場合は、どちらを優先するかを決めた設定での運用が必要となります。
・映像を優先したい場合 →「映像優先設定」へ
・音声を優先したい場合 →「音声優先設定」へ

●映像優先/音声優先の設定について

本製品では、EDID DIPスイッチの設定によって「どの機器の能力を基準にするか」を切り替えます。高リフレッシュレート映像(1080p@120Hz)と高音質音声(Dolby Atmos等)が同時に成立しない場合は、優先したい出力を本機器のOUT1に接続した上で、EDIDを「TV(COPYモード)」に設定してください。

●映像を優先したい場合(1080p@120Hz重視)

用途例: ・ゲームを120Hzで快適に遊びたい。
・音声はPCM(ステレオ)イヤホンかスピーカー出力でも問題ない。

設定手順

- 1.OUT1に(1080p@120Hz対応)テレビ/モニターを接続します。
- 2.EDID DIPスイッチを「TV」側に設定します。

動作の考え方

- ・OUT1に接続された表示機器の能力が最優先されます。
- ・1080p@120Hzは成立しやすくなります。
- ・音声フォーマットは構成により制限される場合があります。

●音声を優先したい場合(Dolby Atmos/DD+重視)

用途例: ・サウンドバー/AVアンプでAtmosを確実に出したい
・映像は60Hzでも問題ない

設定手順

- 1.OUT1にHDMI入力端子(HDMI IN)を備えたサウンドバー/AVアンプと接続します。
- 2.EDID DIPスイッチを「TV」側に設定します。

動作の考え方

- ・OUT1に接続された音声機器の能力が最優先されます。
- ・Dolby Atmos/DD+が成立しやすくなります。
- ・映像は、60Hzに制限される場合があります。

●EDID DIPスイッチ 設定時の重要な注意点

- EDID DIPスイッチ を変更した場合は、再起動してください。
- EDID DIPスイッチ は万能ではありません。
- STD (1080p 固定) : 出力解像度を1080p系で安定させたい場合に使用します。
- TV (OUT1コピー) : OUT1に接続した機器のEDIDを入力機器へ返し、OUT1基準の映像/音声条件になりやすくなります。

●迷ったときの考え方

- 「どれが正解か分からない」= 正常です。
- EDID は 試しながら合わせる前提の仕組みです。
- 壊れている可能性はほとんどありません。
- 映像を取りたいか、音を取りたいか。
- それだけ決めて EDID を合わせれば大丈夫です。

●お困りのときは

映像が映らない/音が出ない場合でも、多くは製品の故障ではありません。
EDID DIPスイッチ設定の切り替え、接続順の見直し、完全電源OFFからの再起動を行うことで、改善するケースがほとんどです。
本マニュアルの**「解決のヒントフロー (STEP1~STEP3)」**を上から順にお試しください。

●解決ヒントフロー

映像が映らない/音が出ない/120Hz や Dolby Atmos が有効にならない場合は、上から順に、STEPを飛ばさず確認してください。

STEP1 まず「最小構成」で動作確認 (最重要)

- 最初に、構成をできるだけシンプルにします。
- 1.出力は 1台のみ にして動作確認
 - 2.HDMIケーブルは、可能であれば 短いケーブル を使用
 - 3.解像度は 1080p@60Hz、HDRは OFF に設定
ここで安定する場合 → 高帯域設定やEDID交渉が影響しています。STEP2へ
ここで不安定な場合 → 配線・接続順・機器個体差の可能性がります。STEP3へ

STEP2 高機能を「1つずつ」有効化する

- 高機能は同時にONにすると切り分けができません。
必ず1つずつ確認してください。
有効化の順番 (推奨)
- 1.1080p@60Hz (安定確認)
 - 2.4K@60Hz
 - 3.HDR/Dolby Vision ※
 - 4.Dolby Atmos/DD+ (ビットストリーム)
- ※途中で不安定になった機能が、原因となる場合がほとんどです。
※Dolby Vision (12bit) についてご参照ください。

STEP3 再起動 (EDIDの再交渉)

- EDIDは、再起動しないと反映されない場合があります。
【推奨 : 完全電源OFFからの再起動】
- 1.すべての機器の電源をOFF
 - 2.可能であれば コンセントを抜いて1分以上待機
 - 3.以下の順番で電源ON
表示機器 (TV/モニター) → サウンドバー/AVアンプ → 本製品 → 入力機器 (PS5等)
- ※ EDID DIPスイッチを変更した場合は、必ずこの手順を行ってください。

STEP4 CEC (HDMIリンク) の影響を確認

- HDMIリンク (CEC) が原因で、誤動作する場合があります。
- ・一度 CECをOFF
 - ・再起動後、必要に応じて CECをON
- ※ CECの動作はメーカー差が大きく、正常動作を保証するものではありません。

STEP5 映像優先/音声優先を選択する

- STEP1~4を行っても同時成立しない場合は、どちらを優先するかを決めて運用します。
☞詳細は「映像優先/音声優先の設定について」をご確認ください。

【注意事項・制約まとめ】

- DD+/Dolby Atmos が出ない場合 (eARC非対応モニター環境)
eARC非対応モニター環境でDD+ (Dolby Digital Plus) を楽しむには、以下の条件を全て満たす必要があります。
- 入力機器 (Fire TV/PS5/ゲーム機/PC等) がDD+を出力できるコンテンツ・音声設定であること。
- HDMI入力端子 (HDMI IN) を備えたサウンドバー/AVアンプを使用していること。
- HDMI入力端子のないサウンドバーでは、この構成は成立しません。
- ※条件を満たしていない場合、音声は PCM または出力されない場合があります。

●1080p@120Hz が不安定・非対応になる場合

- お持ちのモニター、ゲーミングソフト、HDMIケーブル、すべて対応しているかご確認ください。
- 「非対応」と表示される場合
→ EDID 優先・接続順・再起動が影響している可能性があります。
- STEP2 (段階的有効化) ・STEP3 (再起動) を実施してください。

●Dolby Vision (12bit) について

- ※本製品は HDMI 2.0b (最大18Gbps) 規格に基づいて動作します。
- そのため、4K@60Hz環境においては、HDRやDolby Vision使用時に色形式(YCbCr4:2:0等)やビット深度が制限される場合があります。
- また、Dolby Vision は伝送方式や EDID 交渉結果、接続機器の仕様により、分配器を介した構成では環境依存で動作しない、または HDR10 に切り替わる場合があります。
- これらは、HDMI 規格および Dolby Vision の仕様上の特性によるものであり、本製品の不具合や性能不足によるものではありません。

●HDMIケーブル・配線距離 (重要)

- 1080p@120Hz/4K@60Hz では
HDMI 2.0 認証「プレミアムハイスピードHDMIケーブル」を必ず使用してください。
 - 安定距離は、配線環境・機器相性により変動します。
 - 長尺配線では
HDMI AOC ケーブル、または HDMI 延長器の併用をご検討ください。
- 切り分けのコツ
まず短いケーブルで安定確認 → 長尺のみ不安定なら、配線が原因の可能性が高いです。

●PS5 使用時の補足 (改善する場合がある設定)

- 映像が途切れる場合
→ PS5 [映像転送速度] を -1/-2 に設定
- ブラックアウト/色が不安定
→ 一時的に HDR OFF で確認
- DualSense の 3.5mm 端子にイヤホン接続時
→ HDMI 側の PCM 音声が出力されない場合があります。

●キャプチャ用途で使用する際の注意事項

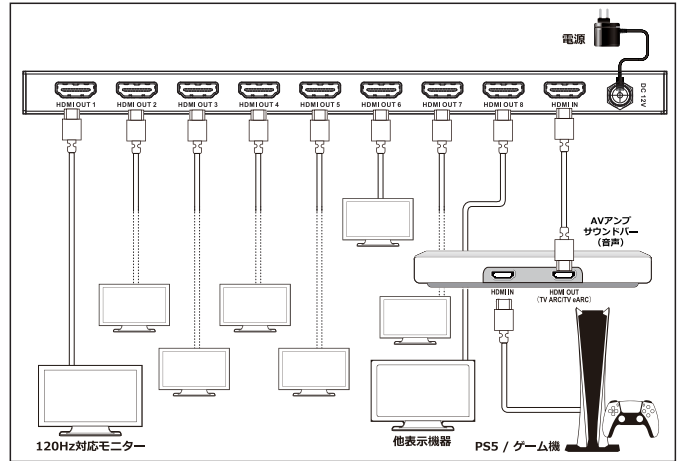
本製品は録画・配信・OBS等のキャプチャ用途で使用する場合、映像および音声の動作はキャプチャ機器及びキャプチャソフト側の仕様制限を受けます。
多くのキャプチャ機器では、仕様上Dolby Atmos/Dolby Digital Plus/DTSなどのビットストリーム音声を入力できないため、音声がPCM/LPCM 2.0ch (ステレオ) に制限される、又は出力されない場合があります。これは本製品の不具合ではなく、キャプチャ機器・ソフトウェア側の設計による制約です。
キャプチャ時に音が出ない、又はノイズが発生する場合は、入力機器側の音声出力設定をPCM(48kHz)に変更し、Dolby/DTS等のビットストリーム出力を無効にして動作確認を行ってください。特にPS5やゲーム機、ストリーミングデバイスでは、この設定変更により改善するケースが多く見られます。
また、キャプチャ機器の仕様により、1080p@120Hz入力非対応となる場合や、HDRが自動的に無効化される、色形式が YCbCr 4:2:0/8bit に制限される場合があります。
安定動作を優先する場合は、1080p@60Hz/HDR OFF での運用を推奨します。

●HDCP (著作権保護) について

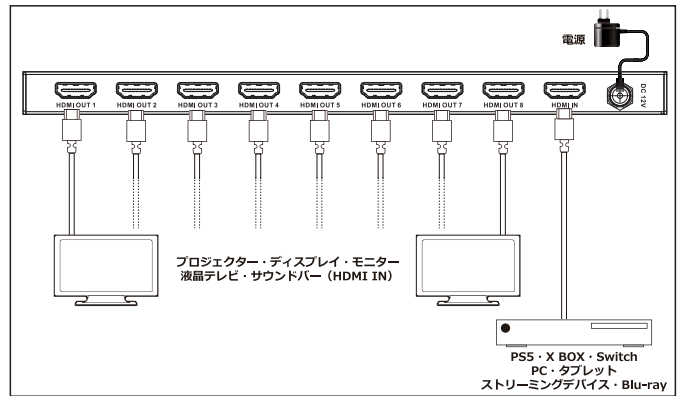
本製品は、HDCP 規格に基づいた信号の中継および再交渉を行う設計です。
著作権保護コンテンツ信号の解除を目的とした使用や保証・サポートは行っておりません。

接続構成例 (図解前提)

図① 1080@120hz Dolbyatoms(DD+)同時成立(条件付き)



図② 優先したい出力機器をOUT1と接続 EDID : TV



- ※Dolby Atmos (DD+) 音声優先構成 ;
サウンドバー/AVアンプの HDMI IN へ直接接続が必要で、サウンドバーが 1080p@120Hz に対応していない場合、映像は60Hzに制限されます。
- ※出力先の解像度が異なる場合
性能が異なる機器を接続した場合は、低い方の性能に合わせて出力されます。
例: 1080p@120Hzと1080p@60Hzを同時接続した場合、出力は 1080p@60Hzになります。

●保証・返品について

本製品には、ご購入日からの半年の製品保証が付属します。
保証内容は、正常な使用状態における自然故障を対象とします。
保証の際は、ご注文番号をお知らせください。
※誤使用、改造、落下、水没、天災等による故障は保証対象外となります。
返品・交換の条件および手続きは、Amazon.co.jp の返品・返金ポリシーに準拠します。
詳細は、Amazon の注文履歴より該当注文をご確認ください。
互換性を理由とした返品送料はお客様負担となります。

●改善しない場合 : お問い合わせ時に必要な情報

- 下記を明記のうえ、お気軽にお問い合わせください。
- ・入力機器/出力機器のメーカー名・型番
 - ・接続構成 (入力 → 本機 → 出力)
 - ・ご使用目的 (例: 120Hz優先、音声重視、キャプチャ用途 等)
 - ・発生症状 (映像なし/音声なし/VRR不可/ノイズ等)
 - ・ご注文番号をお知らせください。

●製品サポート・技術的なお問い合わせ先

本製品の仕様、接続方法、動作確認に関するご質問は、下記販売元へお問い合わせください。
【販売元】DAIAD(ダイアド) | 日本国内ブランド
Tel: 048-795-1598 メール: ishin@daiad.jp
住所: 〒339-0007 埼玉県さいたま市岩槻区諏訪1-1-6-203
本資料の無断転載・複製・改変を固く禁じます。 © 2026 DAIAD All Rights Reserved.